

ミズスギ

Lycopodium cernuum L.
ヒカゲノカズラ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で多くの生育地が確認されている。水田の畔や水のしたたる崖等に多く生育していたが、水田の乾田化や湿地の開発等で減少している。

分 布

全国分布は北海道～沖縄。県内分布は若狭町、美浜町、敦賀市、越前市、越前町、福井市、あわら市。

種の特徴

地表をはう茎は、ところどころで分岐する。地表をはう茎から直立した茎を出す。直立茎は高さ約 30 cmほどで、分岐して樹木状となる。小枝の先に孢子囊穂をつける。

生育を脅かす要因

土地改良、湿地開発。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1990)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○		○	○					○	○				○

タチクラマゴケ

Selaginella nipponica Franch. et Sav.
イワヒバ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で現在知られている生育地は 4 地区であるが、生育地では群生する。管理放棄や自然遷移によって、産地の個体数が減少する可能性がある。生育環境が広いため寺院や神社を探せば見つかる可能性があり、要注目となった。

分 布

本州～九州に分布。県内では越前町、永平寺町、福井市、坂井市に分布する。

種の特徴

低地～山地の草地や岩上に生育する常緑性のシダ植物。主茎は匍匐し、長さ 5～20 cm。腹葉は広卵形、長さ 2～2.5 mm、先は尖る。背葉は狭卵形、長さ 1 mm。先は尖り、細かい鋸歯がある。孢子葉をつける枝は直立し、孢子囊穂は区別が難しい。

生育を脅かす要因

産地局限、管理放棄、自然遷移。

参考文献 岩槻邦男 (1992)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○			○	○						○

アカハナワラビ

Botrychium nipponicum Makino
ハナヤスリ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が限られている。山地の林床や林縁に生育。園芸目的の採取圧を受けている。

分 布

全国分布は本州～九州。県内では点在するが、やや稀である。

種の特徴

冬緑性の小型シダ類。フユノハナワラビに似る。栄養葉の下部羽片は上部で急に狭くなり、小羽片、裂片は鋭鋸歯をもつ。冬季には紅葉する。高さ 20～30 cm。共通柄は短く 1.5～6 cm、三出葉的五角形 3 回羽状深裂、孢子葉は栄養葉よりはるかに長い。

生育を脅かす要因

森林伐採、採取圧、小型のため踏み倒される。

参考文献 岩槻邦男編 (1992)、中池敏之 (1992)、渡辺定路 (2003)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○			○	○				○				○	○	○